

仙台の顔、杜の都親善大使として

4217176 柳原莉子

今から1年前、宮城学院女子大学への進学が決まった私は、生まれ育った仙台で、私らしく貢献できる活動がしたいと考えておりました。ですが、ただ漠然と「私らしく貢献できること」といっても、一体私に何ができるのだろうか、正直悩んでいました。そんな時、駅で偶然「2017 せんだい・杜の都親善大使」を募集するパンフレットを見つけ、『仙台を愛するあなたを待っています』表紙に書かれたこの言葉が目にとまり、手に取りました。親善大使の存在は知っていましたが、私にはほど遠いことだと思っていました。ですが、私に務まるかという不安よりも、やってみてみたいという気持ちが強く、応募を決意致しました。

杜の都親善大使は、「仙台の顔」として、全国の皆さまに仙台の魅力をお伝えし、観光先として仙台を選んでいただけるよう PR する活動を行っております。仙台から発信するだけではなく、多くの方に直接仙台の良さを感じていただけるように、実際に東京をはじめ東北地方や大阪、石川、広島などにもご訪問をさせていただいております。私は、伝統的な文化や歴史を守りつつ、日々進化していることが仙台の魅力の一つだと思い、そんな素敵な仙台を日本のみならず、世界中の方に知っていただけるような PR を心がけています。また、仙台・青葉まつりや、仙台七夕まつり、東北絆まつり、SENDAI 光のページェント点灯式をはじめとする、仙台のイベントが盛り上がるようにお手伝いをさせていただいております。

親善大使として、特に気をつけていることは、正確な情報をお伝えする、ということです。仙台で行われるイベントを各地で PR させていただくことが多いので、日時や開催場所の情報には特に気をつけています。様々なご質問をいただいた時も正確にお答えするとともに、私なりの見どころなどもお伝えし、興味を持っていただけるように心がけています。また、一期一会を大切に皆さまとお話しをさせていただいております。たくさんの方とお話しできるのも、親善大使だからこそ。仙台の魅力をお伝えする立場でありながら、日々多くのことを学ばせていただいております。

活動をしていて嬉しいことは、私の顔を覚えて、お声をかけていただけることです。「頑張ってるね、いつも応援しているよ」「仙台の PR よろしくね、頼んだよ」などのお言葉は、とても温かく、心強く、もっと頑張りたいと思う私を後押ししてくれる、魔法の言葉です。また、お子様からいただいた「将来、お姉さんのようになりたい」という言葉は私の宝物となりました。

大勢の方の前でお話をさせていただいたり、普段の生活ではお会いできない方にお会いできたりと、今まで経験したことがない貴重な時間を過ごさせていただいております。私が、親善大使の活動と勉学を両立できるのは、家族だけではなく、学生生活をサポートして下さる学校や先生方、そして大切な仲間のお陰だと思っております。

任期終了の4月30日まであと少しですが、次の親善大使に良いバトンを渡せるよう、一層精進して参ります。また、この素晴らしい経験を生かして、これからも仙台に貢献できるような活動を行っていきたいと思っております。



杜の都親善大使を務める柳原さん